

重点目標に関わる本年度努力事項と具体的取り組み（その1）

重点目標：学力の向上による進路保障		主担当	スケジュール	備考「冊子」	
（年度努力事項） 授業力の向上		具体的な取り組み	全員が公開研究授業を行い、批評しあうことで、教科指導力の向上を図る。	教務 教育実習期間・学校公開時に実施、公開授業週間を設定する	教員にアンケートを実施
（目指す姿） 教員が授業改善に積極的に取り組むことによって、生徒の授業理解が進み、学力が向上する。	（現状） 学力向上のために様々な取り組みをしてきたが、根本的な授業改善には手がつけられていない。熱意ある教師が多く、可能性を秘めている。		大学入試問題研究を実施し、授業に反映させる。また、冊子にまとめ生徒に配布する。	進路 8月中に実施 9月にまとめる 10月配布	「阪大研究」
			生徒による授業評価を実施し、授業の改善を行う。	学力向上 12月 3学期に実施	生徒にアンケートを実施
（年度努力事項） すべての生徒の学力の向上		具体的な取り組み	朝の学習や課題提出の徹底により、日々の学習習慣の定着を図る。	学年教科 毎日実施 週末課題 休業中の課題	教員・生徒にアンケート、「学年だより」
（目指す姿） すべての生徒が授業に意欲を持って、積極的に参加し、教師は、個々の生徒の能力を引き出す。	（現状）入学当初から生徒の学力には大きな差がある。習熟度別授業や毎時間の小テストの実施など各教科において様々な工夫が行なわれている。		個人面談・補習等での学力不振者への指導や、小集団授業・ノート添削等、学力・進路に応じた個別指導を行う。	学年教科 進路 放課後	教員・生徒にアンケートを実施
			専門科目の確実な定着を図るため、学科や学年に応じた全商主催検定試験の受験級を設定する。	商業 国経 各授業ごと（全体は年度当初に配布）	
（年度努力事項） 進路実績の向上		具体的な取り組み	第1志望届けを提出させると共に面談を実施する。	学年 進路 2・3年時	教員・生徒にアンケートを実施
（目指す姿） 早い段階から自分の進路を考え、高い目標を設定させる。進学校として進路実績において、地域の信頼を得ている。	（現状） 進路実績において、年度により大きな違いがある。地域の信頼を得るだけの成果は現われていない。		学年は成績検討会を考査毎に行い、分析し面談等で指導に生かす。教科でも検討会を行い、具体的な対策案を提出する。	学年 進路 教科 模擬試験結果データ返却前に実施報告する。	
			次のように大学合格者数の目標を設定する。（東大5、京大10、阪大20、神戸30）	進路 4月に目標設定 3月に集計する	

重点目標に関わる本年度努力事項と具体的取り組み（その2）

重点目標：豊かな人間性を持った生徒の育成		主担当	スケジュール	備考「冊子」	
（年度努力事項） 規律ある態度の育成		具体的な取り組み	学年 生徒指導	毎日指導 生徒にアンケート 学期末毎に集計する	
（目指す姿） 自由と責任の関係、個人と集団のあり方を考えられる生徒。地域と学校の間を考えた、行動できる生徒。	（現状） 「生活3原則」である「挨拶励行・時間厳守・清掃の徹底」を中心に指導している。		生徒指導	4月：入部率 随時指導、戦績の集計と公表	教員・生徒・保護者にアンケートを実施
			生徒指導	5月、11月：マナーアップ運動 毎日：朝のあいさつ運動	教員・生徒にアンケートを実施
（年度努力事項） ボランティア体験の実施		具体的な取り組み	生徒指導	8月：佐用町の災害復興のお手伝いなど	
（目指す姿） 自ら企画し、社会体験を実行することによって、社会性を高める。また、人のために役立つという体験を通し、自己肯定感を持つ。地域との「絆」をより強くする。	（現状） 素直な生徒たちであるが、自ら進んで何かをやるという体験、自分が必要とされているという体験をさせてやる必要を感じる。		生徒指導	6月、12月：クリーンキャンペーン。希望者を募って実施する。	
			総務	寺子屋、神鉄活性化調査など	「新聞・報告書」
（年度努力事項） 人権教育の充実		具体的な取り組み	人権	11月：全校生、1学年	教員・生徒にアンケートを実施
（目指す姿） 人間尊重の心を養い、日常生活において人権を尊ぶ実践的態度を育てる。自らを見つめ、よりよい生き方を追求できる人間。	（現状）本校ではあまり問題になってはいないが、ネットや携帯メールによるいじめが大きな社会問題となっている。		国際理解	9月：	教員・生徒にアンケートを実施
			保健	年間10回：教育相談を実施、12月：研修会	教員にアンケートを実施

重点目標に関わる本年度努力事項と具体的取り組み（その3）

重点目標： 地域に信頼される学校づくり		主担当	スケジュール	備考「冊子」
（年度努力事項） 情報発信の手段と内容の充実		具 体 的 な 取 り 組 み	動画を入れるなどホームページを充実させアクセス回数を増やす。	情報 ICT 支援員を活用（9月～） 保護者にアンケートを実施
（目指す姿） HP に最新の情報が掲載され、HP を見ることで学校の様子がよく理解できる。新型インフルエンザ等緊急の状況に対応できる体制ができています。	（現状） 動画等を取り入れて、本校のすばらしい行事をアピールする。また、新型インフルエンザ発生時の対応の準備をしておく必要がある。		新型インフルエンザの流行に備えた連絡体制を確立する。そのために、携帯メールへの保護者の登録数を100%に近づける。	総務 情報 5月 保護者にアンケートを実施
			学年通信・保健だより・図書通信などを定期的に発行し、ホームページに掲載する。	学年 保健 図書 毎月 「学年通信」保健だより「図書だより」
（年度努力事項） 教職員の意識の高揚		具 体 的 な 取 り 組 み	危機管理ワークショップを実施する。	総務 5月：実施 教員にアンケートを実施
（目指す姿） 学校評価制度を利用して、小野高校のあるべき姿、方向性を教職員が自覚し、日々の教育に取り組む。	（現状） 学校評価制度そのものがよく理解できていない。互いに学校をよくするために議論することが必要である。		学校評価 学校評価についてのワークショップや職員研修会を実施する。	9月：研修会 10月：ワークショップ 教員にアンケートを実施
			教員間で意見を交換する場としてグループウェアを開設する。	情報 9月：準備 11月以降：試行実施 教員にアンケートを実施
（年度努力事項） 地域との連携		具 体 的 な 取 り 組 み	キャリア教育を推進するため地域の教育力を活用したインターンシップを実施する。	インタ ーシ ッ プ 委 員 会 8月中に実施 教員・生徒にアンケートを実施「冊子」
（目指す姿） 学校・家庭・地域社会が、それぞれの教育力を生かしながら連携し、生徒を育成する。地域に開かれ、地域に信頼される学校。	（現状） 高大連携として生徒が講義を受ける立場が多い。小中連携として講義をしたり、寺子屋の活動が生徒を大きく成長させると考える。		保護者を講師とする職業講演会を実施する。	1年 10月：1学年 科総・商国 教員・生徒にアンケートを実施「感想文」
			地元企業と連携し商品開発や地域の課題の調査研究活動を実施する。	商国 4月：蜻蛉祭で発表 教員・生徒にアンケートを実施「新聞」

